

考えております。ぜひこれからも連携して管理をしていただければなというふうに思っているところです。

それから、前立腺がんの、市長からいただいた回答、今、60代に対して助成をしてるのを50代にさせていただけるということでございますので、これはこれとして本当にありがたいことだなと。やっぱり市民の命を守るというのは私どもの使命でございますので、それを考えれば大変結構なことだと思います。これで全てではないと思うんですけども、ぜひ検診率をまだまだやっぱり上げていかなければならないのかなというふうに思っているところです。私の友人、先輩なんですけど、ちょうど2つ上、61歳で去年亡くなってしまったというのはまた残念なことで、本当に悔しくてしょうがないことです。また、知人の方も70代でございましたが、この方も前立腺がんで亡くなったというようなことがありまして、なかなか周りにそういった人がいないと、実際、市でやってる検診なんか目をとめてみるということがなかなかできないわけですので、ぜひこの機会を利用してでも市民の皆様にも周知していただければなというふうに思ったところでございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

それから、ピロリ菌検査に関して、いろいろ述べていただいて、本当に集団検診でも今後していきたいということでございますので、これは大変よいことだなというふうに思っているところでございます。

先ほど課長からも言っていたとおり、中学生にも今後、検討していきたいというようなことであります。やっぱりここで重要なのは、中学生が感染してる場合はその家族も感染してる可能性があるということが、これ重要じゃないかなというふうに思っているところです。やっぱり若い世代にしっかりとそういう感染してるのを除菌すれば、将来的に胃がんになるという

リスクは少なくなるわけでございますので、ぜひ中学生とか若い人たちにも検査をしていただければなというふうに思っているところでございます。

あと、在宅介護について、いろいろ難しい点、私も重々承知しております。これは、やっぱり今回の台風でも大きな問題となったわけですけども、やっぱり相手が自然ですと、どうしても自然相手のことで、責任の所在なんていうのはなかなか追及もしづらいし難しいんだなというふうに思っているんですけども、やっぱり早目早目の対応をしていかなければならないんだなというふうに私も思っているところでございます。

それにつけても、やっぱり地元の消防団に頼るところというのが本当にまだまだ多いんだなというふうに、私、さらに自覚したところでございます。ぜひ消防団の方々に対してもさらなる支援、そういったものもしていただければなというふうに思っているところでございます。

時間は5分ありますけれども、以上で私の質問を終わりたいと思います。ありがとうございました。

梅津善之議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 次に、順位11番、議席番号9番、梅津善之議員。

(9番梅津善之議員登壇)

○**9番 梅津善之議員** おはようございます。

9月定例会最後の一般質問になりました。皆様、お疲れだと思いますが、最後までよろしくお願いいたしたいと思います。

まずは台風10号による被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、復興復旧を最大限に早期にお願いしたいと思いますし、昨日も台風13号から変わられた低気圧が大雨を

降らせております。農産物や住民、市民の生活に被害がないことをお祈りを申し上げます。

さて、まだ興奮の冷めやらないリオオリンピックでは、41個のメダルを獲得した日本人、各選手にそれぞれの思いが国民の胸を打つ熱い試合を見せていただきました。選手ともに喜びたいと思っております。また、昨日はパラリンピックが開催されております。159カ国の国と地域が参加し、難民チームからは史上最大の規模、約4,300人の選手が参加されております。我が日本は132人の選手団で、大いに活躍を期待したいものです。

さて、1番目の質問に入ります。

昨年度供用が開始されました生涯学習プラザ運動公園についてです。敷地面積6.2ヘクタール、第3種の陸上競技場、天然芝のサッカーコート、68メートル掛ける100メートル、400メートルのトラック、約1,400名を収容できるメインスタンドとバックスタンド、管理棟や備蓄倉庫、そのほか、多目的広場など、サッカーコート1面、1周770メートルのウォーキングコースなど、さまざまな施設を整備され、駐車場は臨時駐車場を合わせると818台兼ね備えておるスペースがあります。さらには、防災機能付の運動公園です。

供用から1年が過ぎ、今までの利用状況や利用者の声など、生涯スポーツ課長、お聞かせください。また、天然芝の管理などの状況などもぜひお聞かせください。

今定例会でも補正予算が計上されておりますが、当初、検討されていた公園の維持管理費よりも経費がかかり過ぎてるとおられます。このようなことが考えられるか、生涯スポーツ課長、お聞かせください。

また、市長には、運動公園全体を見て、将来の考え方などをお聞かせいただきたいと思っております。

次の質問は、西廻り幹線道路についてです。

長井南バイパスが開通して、泉一大塚間の通行が非常にスムーズに流れるようになりました。

さて、3月定例会の浅野議員の予算総括の質疑の中で、東北中央自動車道の福島―米沢間が、福島ジャンクションから米沢インターまで約28キロメートルは平成29年度供用となっております。米沢インターから米沢北インターまで9キロメートルも平成29年度の供用を予定しているとの報告がありました。また、国道113号梨郷道路については、事業全体の進捗率が約22%で、今後の開通は、開通に向けた事業実施計画が整った状況で確定するという報告が建設課長からありました。さらに、国道287号線、米沢―川西間の完成予定ですが、3つの工区があり、米沢市窪田から六郷まで米沢北バイパス3.6キロメートル区間、米沢市六郷から川西町時田まで4キロメートル区間、川西町時田から川西町西大塚間まで5.6キロメートルですが、それぞれの区間で着手しているが完成の見通しが公表されていないとの建設課長からの報告がございました。

さて、私が質問いたします西廻り幹線道路の早期実現についてということでございます。

今定例会中にも西廻り幹線道路期成同盟会の会長、土屋貞一様から長井市議会議長宛てに要望書が提出されております。

1つ読み上げさせていただきますと、西廻り幹線道路建設期成同盟会は、平野、西根、致芳の3地区が一丸となり、西廻り幹線道路の建設促進に取り組んでいる組織であります。長井市は新潟、山形、仙台間及び新潟、福島間を結ぶ交通の要所として重要な役割を担っており、新潟山形南部連絡道路では、地域高規格道路・113号の整備が着実に進捗中、今日までに国道287号の整備も長い歳月を要し、今泉、泉間、長井南バイパスが今春開通となりました。しかし、その以北については白紙の状態であることから、次の事項をもって西廻り幹線道路が早期

に計画進捗されるように要望するものであります。

1 番目、現在の287号は交通量が多く、特に朝夕の通勤には渋滞をきたし、緊急時には大変な支障をもたらす危険性が潜んでおります。西廻り幹線道路はその課題を解決するものと考えます。

2 番目、西廻り幹線道路は公立置賜総合病院を核とし、救急医療、防災、消防等、緊急時における地域住民の命をつなぐ道として安全安心を求める私たちの悲願であります。

3 番目、長井市においては観光立国を目指し、やまがた長井観光局を立ち上げ、交流人口や定住人口の拡大に力を入れておられます。長井ダムを初め西山山麓の古代遺跡群、眼下には広大な田園地帯を有し、観光、教育文化の振興はもとより、農業、工業、商業等の地域振興の発展に大きな役割を果たすものと考えます。

現在、新潟山形南部連絡道路では梨郷道路の整備が着実に進み、米沢一川西間においても規格の高い道路の整備が進められております。当同盟会としても高速交通網の整備こそ置賜圏域30分構想を実現化し、安心して暮らせる地域への発展を期待するものですと要望書をいただいております。

少しでもその要望書に答えられるよう努力すべきだと私は考えておりますし、今までの状況など取り組みを建設課長に、そして、現実に西廻り道路の実現に向けての取り組みなど、建設課長にお聞きしますし、市長には、10年来、地域住民の思いを受けとめてどのように進めておけばよいか、考えをお聞かせいただきたいと思っておりますし、県への重要要望事項としての考え方についてもお聞かせいただきたいと思っております。

以上で壇上よりの質問を終わります。ありがとうございました。（拍手）

○**洪谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 梅津議員からいただきました。

まず第1点目の生涯学習プラザ運動公園についての、私のほうからは、将来の考え方はどうだというようなお尋ねでございます。

まず率直に、やはり当初の予定から比べますと、梅津議員がおっしゃるように、特に芝の維持管理については経費がかかり過ぎてるということについてはごもっともでございます。今後、これらをどういうふうに圧縮していくかということ、課題を整理しながら今後検討しなきゃいけないというふうに思っています。

梅津議員おっしゃいますように、生涯学習プラザ運動公園については、いわゆる陸上競技場としての整備ではございません。あくまでも防災機能付都市公園の整備ということで、これは補助を受けたわけでございます。おかげさまで、この昨年の平成27年の春に供用開始をしたところでございます。

27年度は陸上競技場のインフィールド、芝生広場については、芝の養生のために使用せずトラックのみの使用でございましたけれども、ことし7月の商工会議所青年部全国サッカー大会で使用を開始したところでございまして、以降、8月から貸し出しを始めたところです。

陸上競技場、芝広場とも利用した方々からは、私も大変好評だというふうなことは伺ってるところでございます。しかし、天然芝をスポーツフィールドとして管理することの大変さ、そして管理するための多額の費用を要することを実感しているところでございます。

芝生広場のほうでございしますが、これについては平成26年度に、本来であれば秋、晩秋に種を植えて、これ、張芝の予算がありませんでしたので、種でやると。そして、それをずっと養生して1年間、使わずに芝として強い天然芝をつくっていくという計画でしたが、あの当時は大変な豪雪で、それが、どうしても工事がおくられてしまいました。したがって、播種されたのが、時期がやっぱりどうしても年明けだっ

たというふうに伺ってます。加えて、春先、27年5月、6月ぐらいはゲリラ豪雨の局地版みたいなものがありまして、植栽して植えた、聞いてらっしゃると思いますが、種が全部流れてしまったというのが2回ぐらいありまして、この今の芝ではだめだということから、西洋芝も含めたさまざまな種類の芝を植えて、いわゆる商工会議所の青年部大会に備えたということでございます。

26年度に商工会議所の青年部が、何とか28年度に全国のサッカー大会を誘致したいという、本当に熱意と努力でこれを実現しそうだということから、私も当時の商工会議所の横澤会頭と一緒に静岡に出向いて、グラウンドのほうは万全を期すからぜひ来てほしいというようなことで言った手前、実は26年度、7年度は、私、かなり青年部の皆さんから批判されました。何やってるんだと。やる気はあるんかと。ある方なんかは、じゃあもう自分でやるから、それで使わせろと。使って、ぐじゃぐじゃになったら責任持ってやるまで言われたんですが、いや、ちょっと待ってくださいと。とにかくこれは頑張るから、1年かけて試合までは間に合わせるようにしますので。いつの間にか私が悪者になってしまったんですが、そんなことまでも言われたんですが、最後は青年部の皆様からもご理解をいただいて、大変喜んでいただきました。

その過程の中で、当初、何でこんなにかかるんだというぐらいお金がかかってしまったと。ですから、これからは通常の使い方です。済むような芝の管理にしたいと思いますが、これ、いろいろ専門家のほうから聞きますと、切りがないんだそうです。やっぱり1,000万円かけたら1,000万円がな、2,000万円だったら2,000万円がなということで、ですから、どこまで芝の管理にお金をかけるのかということについては、今後、生涯スポーツ課を初め、専門の業者の皆さんと話をしながら、これはきちんと対応しな

きゃいけないなと思ってるところでございます。

梅津議員からは、芝生広場のほうを人工芝にしてはどうかというご意見でございます。

残念ながら、陸上競技場は第3種の陸上競技場、1種、2種、3種の違っているのは、要は観客の収容人数でその1種、2種、3種等々がおおむね決まるわけですが、3種を公認、とるということは、フィールドは天然芝じゃないとだめなんです。ですから、これはもう問題外です。基本的には、第3種のいわゆる公認の記録をとれる陸上競技場っていうのは、置賜では米沢うちだけですので、この機能は維持しなきゃいけないと。

一方で、天然芝の芝生広場の部分については、将来的には人工芝にしたいなというふうに思っています。

一番の理由は、人工芝より使うほうは天然芝のほうが絶対いいですね。膝も傷めませんし、けがも少ないですし、思い切ったプレーができます。人工芝は確かにきれいで管理にお金がかかれないんですが、やっぱり危険性はあるというふうに思っています。ただ、天然芝より毎日使えらる。それこそ朝昼晩使っても大丈夫だというのが人工芝の一番のメリットだと思っています。したがって、補助事業で行った以上は、ある程度の期間は従来の目的で使わなきゃいけないんですが、状況を見て、これ、人工芝も考えていきたいと。

あと、一方で、すぐにできない理由の一つが、いわゆる災害防災機能付なものですから、何かあったときの、結局、被災された方の仮設住宅ということなものですから、人工芝ですと、そこをコンクリートで固めないといけません。ですから、仮設住宅は基本的に少し支障が出てくるんですね。大丈夫ですけども、ですから、そういった意味では、一番は普通の土にしてるほうがいいんですが、やっぱり使い勝手ということを考えれば、どっかの時期で人工芝を

考えたいなというふうに思っています。

なお、人工芝については、今、進めておりますあやめ公園の中の都市公園、野球場は、あそこは芝はできませんでしたが、テニスコートなんかはぜひ全天候で、これ天然芝じゃないんですが、あとは、これ、totoなどを活用させていただければ、補助事業上は無理なんです、いわゆる市民グラウンドの部分というのは使えるのかなということで検討した経緯もございます。

あと、もう一つは、先ほどの赤間議員の質問でもお答えしたんですが、いわゆる雨の日も、冬でも使える屋内のスポーツ施設というのは、基本は下が人工芝ですので、その部分で、totoなどを使わせていただけないのかなというふうに思っておりまして、今後、検討してまいりたいというふうに思います。

詳しいことについては生涯スポーツ課長のほうからあるかと思いますが、やっぱり人工芝の場合は、大体1億5,000万円から2億円ぐらいかかると。天然芝の場合ですと、まあ、かけようですが、通常1,000万円ぐらいはどうしてもかかるということから、お互いコスト的には同じぐらいのものなのかなと。ただ、人工芝のほうが使用頻度が高いということから、人工芝を希望されるのはよくわかるつもりであります。ですから、今後、検討してまいりたいと思います。

続きまして、2点目の西廻り幹線道路についてでございます。

私のほうからは、早期実現に向けての取り組みについてと、県への重要要望事項としてどんな考え方をしているのかということでございます。

西廻り幹線道路は、こないだも、議員も私もでしたが、総会に出席させていただきまして、ちょうど活動して10年ですね。たしか平成17年にスタートしたと思ったんですが、そもそもは、最初、西根地区からこれ、始まったんで

すね。

何で西廻り幹線道路というのが始まったかというのを、私なりに把握してるのは、元市議会議長の勝見芳美さんのほうから聞きました。

平成13年に都市計画のマスタープランを立てる際に、線が引いてあったんだそうです、西に。幹線道路ということで、都市計画道路だかもしれません。ルートは適当だそうです。ただ、線が引いてあったと。だから、市としては、あるいはマスタープランをつくる際に、市民の、委員の皆さんからの意見として、西に道路、都市計画道路なのか、何を求めているのかわかんないですけど、そういうものがあって。だから、西根としては、それはぜひ西根のほうにそれを引かせろということでスタートした。当時、西根地区の環境整備促進協議会ですかね、会長だったそうで、それから始めたんだぞということをお聞きしました。

それが、西根から結局、狙うのはやっぱり国道なので、南バイパスの続きだということに考えられたんだと思うんですね、これ、推定です。それで、西根から今度、平野の皆様に、平野地区環境開発整備促進協議会ってありますよね。それにお話をして、じゃあ西根と平野で合同してこれを住民運動として進めようと。最終的にはこの行く先は致芳だということで、致芳地区も含めて、この3つの団体で、地区でスタートして10年ということだと思っております。

これ、ちょっと話せば長くなるんですが、できるだけ簡潔に言いますが、かなり難しい問題なんですね。というのは、最初、国道っていいますと287号線です。山形県の中のいわゆる置賜の道路計画については、3年前までは長井米沢間の規格の高い道路を整備するというふうになってたんです、置賜の総合開発協議会の中では。それを、違うと。いつの間にそんなふうになったんだと。米沢―白鷹間だろうと、こういって訂正させたのが3年前か4年前です、

ごめんなさい。その際に、やっぱりこれを進めたのは県会議員の先生方で、特に地元の平議員、県会議員と、米沢の後藤県会議員の方々が中心になって、県に、置賜総合支庁のほうにこれを訂正させて、白鷹間にしたんですね。それが、荒砥橋につながったというふうに思っております。

したがって、米沢－白鷹間の規格の高い道路ということでいきますと、西廻り幹線道路というのは長井南バイパスから平野を通して、西根を通して致芳を通して荒砥橋というふうになるんですね。

私どもは、地元の要望を受けて、今から6年ほど前から県の重要事業に上げてるんです、西廻り幹線道路ということで。そして、2年目のときに、県の置賜の総合支庁の建設部のほうと話をしまして、具体的に協議したんですね。とにかく調査費をつけてもらえないかということなども話をしたんですが、具体的にこの路線について何とかしてもらえないかと、そういうふうに言いましたところ、これ、非公式ですけども、やっぱり県の担当としては、長井南バイパスから荒砥橋までっていうと相当な距離数があると。20キロ以上あると。これを287号線として整備するのはかなり難しいと思いますと。

もう既に県の考え方としては、287号線については、荒砥から広野バイパス、そして、つい最近できた森バイパス、もうこれで終わってると。ただ、長井のところは、森バイパスのところからいわゆる長井南バイパスのところまでの区間、ここの部分は287号線で一番渋滞する部分だと。だからここを、いわゆるバイパスということだったら説得力あるんだと。いわゆる渋滞解消と。

ところが、荒砥橋までつなぐ理由がないっていうんですね。もうそのとおりなんです。もう県としては、広野バイパスと森バイパスで終わってるという意味ですから。一番つながって

ない長井のまちなかの、その部分が渋滞するわけですから、その渋滞を解消して森バイパスとかにつなぐと、南バイパスを。それがやっぱり理にかなってますし、理由づけとしてはもう十分なんですね。いわゆるBバイCからいったら、この道路をつくることによる経済的なメリットというのは渋滞が解消されるということで、もう相当な、これ、効果が出るということなんですね。

ところが、やっぱり置賜総合開発協議会っていいですか、米沢－白鷹間なもんですから、その荒砥橋までつなぐというふうになりますと、また違ってくるわけですよ。これで、実は悩んでるところがございます。

あと、議員からは地区住民の思いということがございましてけれども、今、非常に、長井南バイパスもそうなんですが、困ったなと思ってるのは、全然規格が高くないんですよ。長井南バイパスの長井部分だけですよ、規格高いのは。南バイパスの川西部分は信号だらけで、113号線と287号線の南バイパスが立体交差だったはずですよ。私が市議員だったときはそうだと聞いてました。

ところが、いつの間にか平面交差になって、そこから先に数百メートル行きますと、町道のところ信号ができて、それで、私ども、市のほうの担当に聞きますと、南バイパスでは、これ、規格が高い道路だということで側道を設けようとしたんだそうです。ですから、ありますよね、側道が。ところが、川西部分、ないんですよ。ですから、これ、話違うなど。

ですから、この調子で、その川西バイパスから米沢北バイパス、3つの区間に分かれてやっていますけども、あのルートもごらんになったと思うんですが、真っすぐじゃないんです。こんな変に曲がってるんですよ。いや、これはちょっとおかしいんじゃないかと。

私が率直に申し上げますと、一番長井にとつ

て重要なことは何かというと、やっぱりまずは特に長井南バイパスから長井橋、舟場までのこの渋滞区間をどういうふうに渋滞緩和するかということと、あと、もう一つは、今回の西廻り幹線道路の同盟会の皆様とどういうふうに折り合いつけるかですが、国道287号線の県の管轄の国道を西に切っても、長井にとって何のメリットがあるか。それは、メリットありますよ、道路を切るといのは。でも、一番のメリットは、私ども13市の中で唯一高速道路がないまちですよ。南のほうは、梨郷道路ができますとインターチェンジができるんですよ、一応、高速道路扱いですから。そうすると、私どもの工業立地、企業誘致する際に、高速のインターまで何キロ、何分って表示できるんで、これは大きいんですね。しかし、それは南であって、じゃあ山形とか、山形空港までどうだということ、もう全然変わらないわけですね。

したがって、私どもが一番、私個人の考えも含めて重要だと思ってるのは、やっぱり地域高規格道路クラスの道路を西廻り幹線にするというのが一番だろうと。したがって、山形まで長井から30分ぐらいで結ぶぐらいのことでやっていく、そういった運動になるんじゃないかと。もう、今さら県の管轄の国道をもう一つつくってくれって言っても、長井にとっては、住民は、市民はいいんですけども、経済的なメリットはちょっと薄れると。

あと、一番大きいのは、山形まで十分通えるんですよ、30分ですと。そうすると、あちらのほうから、土地は高いから、長井のほうは土地はリーズナブルだし、住みやすいし、水もうまいし、教育とか子育てもいいしということで、人を呼んでこれるんじゃないかと、そういうことを考えたほうが私はいいだろうということで、今回、協議会のときに少し役員の皆さんとお話しさせていただいて、今後、どういうふうにしていったらいいか考えなきゃいけないねとい

うことでございました。

なお、西廻り幹線道路については、まずは調査費をつけてもらうというのが県に対しての第一の要望だと思いますので、これに向けて、議会はもちろんでございますが、協議会の皆さん、また、市内の建設業界も含めて、いろいろご協力いただきながら、まずその第一を、県会議員の平県議にもお願いしながら進めていきたいと思っております。

○**渋谷佐輔議長** 小関浩幸生涯スポーツ課長。

○**小関浩幸生涯スポーツ課長** 私には、生涯学習プラザ運動公園について、3項目のご質問をいただいております。

(1) 利用の状況は、というご質問についてですが、生涯学習プラザ運動公園は、昨年度供用を開始いたしまして、年間利用者数は1万2,684人でしたが、昨年度は陸上競技場のインフィールド及び芝生広場については芝生養生のため貸し出しはしておりませんので、陸上競技場トラックのみの利用人数となります。

今年度につきましては、8月末まででの使用になりますが、陸上競技場の利用は9,908人で行われました。ほぼ毎日のご使用をいただいております。

定期的な利用といたしましては、地元スポーツ少年団、中学、高校の陸上部が多く、ほかに駅伝長井西置賜チームなど、一般の方のご利用もございます。

イベントといたしましては、西置賜地区の陸上競技選手権大会や中学校陸上競技大会、置賜地区陸上競技選手権大会、県や東北、高校駅伝、長井マラソン大会が開催されております。芝生広場につきましては、ことし7月2日、3日に商工会議所青年部全国サッカー大会が開催され、その後、利用が予想される団体の方にお集まりいただき、説明会を開いて、8月から貸し出しを開始いたしましたところでございます。

火曜日、水曜日を原則芝生の養生とさせてい

ただいております。

8月の利用者数ですが、436人でした。主に小・中学生のサッカー練習に使われております。6日、7日には長井地区サッカー協会が主催するサッカー大会、長井サマーフェスティバルが陸上競技場インフィールドも使用して開催されております。

9月にも、3日には置賜地区身体障がい者グラウンドゴルフ大会が開催されておりますし、今後、毎週末にはさまざまなサッカー大会が予定されております。

しかし、芝生広場は、市長からありましたように西洋芝でございまして、病気や暑さに弱く、炭疽病などが発生して広範囲に赤くなるということがございますので、今のところ残念ながら積極的なPRがしにくい状況にあります。

利用者からの声というところでございますが、陸上競技場については、とても走りやすく記録が伸びた、地元がいい施設ができて、わざわざ米沢に行くことがなくなり、効率的な練習ができる、小・中・高と学校の違う生徒と一緒に練習ができて交流ができた、レベルの高い県駅伝選手の走りを見て刺激を受けたといったいい意見もありました。

一方、観覧席が少なく大きな大会、イベントができないというような意見もございました。

芝生広場につきましては、足腰に負担がかからない、けがの心配もなく思い切りプレーができる、夏場も人工芝のような蒸し暑さを感じないといった高評価もありましたが、反対に、日陰がない、病気のせいかと思いますが、芝生の色が悪いといったようなご意見もいただいております。

(2) 芝生の管理状況は、についてですが、プラザ運動公園の緑地管理につきましては、造園等芝生管理の専門的知識、技術を持つ業者に委託し、陸上競技場インフィールド7,420平米、バックスタンド区域770平米、芝生広場を含む

多目的広場2万7,710平米の広い面積を、芝刈り、散水、施肥、殺菌、殺虫、除草剤の散布、機械、人力の除草、エアレーション、目土入れ、刈り芝、雑草の処分などを行っていただいております。そのほかにも樹木の管理を行わなければなりません。

そして、特に陸上競技場インフィールドと芝生広場につきましては、サッカーなどの競技で使用するスポーツターフとしての管理する必要があります。そこで、それは公園等の芝生管理と違い、芝生の高さを低く、30ミリから40ミリぐらいに常に維持しなければならない。そのため芝刈りの回数も多くなりますし、少々の雑草にも気を使うようなレベルの高い管理をしなければならないということになります。

続きまして、(3)当初より経費がかかり過ぎていたのではというご質問についてですが、天然芝の管理費用については天候により左右され、ことしのように雪解けが早いと作業も早まります。しかも、芝生広場の西洋芝は成長が早いのですが、暑さが続いたりするとすぐ病気になるので、一気に広範囲、赤くなったりしますので、そのたびに殺菌剤の散布、施肥、散水することで成長を早め、回復はするのですが、成長すれば、今度は芝を刈らなければならない。そして、芝ばかりでなく雑草も成長し、除草の回数もふえるということとなります。また、この夏の暑さのせいで散水の回数もふえ、委託料の増額補正を提案させていただいているところでございます。

どの程度まで芝生の状態を維持管理するのか、芝刈り、除草など直営することで経費の節減ができるのかなど、管理の水準や方法などを、今後、検討の必要がありますし、先ほど市長からありましたように、人工芝化なども検討する必要はございますが、人工芝の張りかえについても一つの方法ではございますけれども、芝生広場、整備の際、人工芝にした場合の費用は1

億5,200万円と試算されております。白鷹町が平成25年に東陽の里グラウンドの芝生化事業をなされた際は1億2,700万円と聞いております。

そして、人工芝についても寿命があり、耐用年数は10年と一応されているというようなこともありまして、そのような、いろいろ検討事項はございますが、現在のところは利用者によりコンディションで使用していただくために、緑を維持することで精いっぱい努めているといった状況でございます。

○**渋谷佐輔議長** 多田茂之建設課長。

○**多田茂之建設課長** 私からは西廻り幹線道路の早期実現に向けての取り組みについてお答えしたいと思います。

西廻り幹線道路建設促進期成同盟会の皆様におかれましては、平成15年から情報交換や要望活動を行っていただいております、心より感謝するところです。また、昨年度、各地区の代表の方と地区選出議員の方々との研修会がとり行われ、さまざまな意見交換の後、同盟会との連携を強化して活動を進めていく話がなされたと聞いております。

市長の答弁にもありましたように、この規格の高い道路整備というものは市が単独で取り組めるものではなく、これまで県や国に対して重要要望等を行ってきておりますが、長井市の未来に向け、核となる道路交通網の整備が本当に必要であるということを、地域の皆様と意思を一つにして精力的にアピール、活動を進めることで、道路事業の採択、事業の早期実現への最短となるものと信じております。

私どもにおきまして、今後、皆様のご意見の集約や県や国との協議、調整に一生懸命努めてまいりたいと考えているところでございます。

○**渋谷佐輔議長** 9番、梅津善之議員。

○**9番 梅津善之議員** 説明いただきましてありがとうございます。

まず、生涯学習プラザの芝生公園のことでご

ざいますが、市長からは将来は人工芝も十分に検討したいというお話、いただきました。

まず、私、すごく心配するのは、やっぱり芝であっても植物を扱えるのに、小関課長が一生懸命毎日見て、iPadを使ったりして観察して日々努力されてる姿を見ると、担当課長は非常にご苦労が多いのではないかなというのは思うところで、当然、その人工芝は1億5,000万円もかかるんだという話、10年もすれば入れかえんなねだなんていう話も十分わかるんですけども、公園であったりグラウンドであったりするも、やっぱりみんなに使ってもらって何ぼだという気持ちがあると思えば、なかなか、天然芝のいいところも十分わかるんですけども、気苦労が多いのではないかなということをお心配して申し上げましたし、やっぱり市長も認識していらっしゃるとおり、切りがないぐらいの管理費がかかるんだということを、私も業者の人にお伺いしてきました。

当初はまだまだかかんねど、受け取らんにえだなんていう話を業者の方から聞いてきたので、コストがかかるんだなということをお十分認識しておりますけども、市民やいろんな方々、団体、サッカーでも何でも心置きなく使ってもらえるようなグラウンドであってほしいなど、こう願うわけですので、ぜひ早目に検討していただいて、当然、その防災公園であるということ、補助事業であるということも十分理解するわけでございますので、ぜひ検討いただきたいと思っております。これは市長から前向きな答弁いただきましたので、ぜひ検討していただきたいものであると思っております。

2番目の西廻り幹線道路についてです。この前の総会にも、市長も一緒に出席していただいているような話をお伺いしました。すごく私、気になったのは、やっぱり政治力なんですよという話を市長がおっしゃられたんです。私もその端くれであるとともに、どういことをすれ

ば地域住民に思いをはせるようなことができるかなんていうことを自分なりに考えてはいるんですけども、なかなかそうもいかなかったり、いろんな絡みがあってなかなかうまくいかない。地域の方々からは、10年もやってるんだと。南バイパスは20年もかかったと、それ以上もかかっているとありますけども、そういうことも踏まえて、私たち、市長は市長の立場として先ほどお話しいただいたことを進めていくと思っておりますけども、プラザの公園であったり消防署であったり、そして西根地区、致芳地区へとという道路は必要だと私は思っておりますので、ぜひその辺は調査費を早目につけていただくような努力をお互いしていきたいものだと思いますけども、その辺、もう一回、市長、お願いしたいと思えます。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 非常に難しいのは、やはり県の管轄の国道をお願いするしかないんじゃないかと。県道は平野も西根も2本通ってるんですね。致芳も通ってますよね。ですから、今さら県道をつくってくださいということではないわけですよ。そうすると、地元の方たちが望んでいることというのは国道をとということだと思えます。

そうしますと、長井では県の管轄の国道が287号線と348号線しかない。これは全部県の管轄ですね。あと、113号線は直轄なんですけど、一部しか通っておりません、今泉のところということで、直轄ですという道はあるんだろうというふうに思ってます。でも、県の管轄ですと、やはり県のほうでは、もう既に287号線の長井の部分は全て終わったというふうに認識をされておったので、なおかつ、現道、南バイパス通る前の旧の白川橋のところを、あれを市道にしろと言われてたぐらいです。それを何とか突っぱねて、平県議のお力をおかりして、348号線という形で最終的にはしようと。ですから、

今もあそこは県道なんですよね。県の管轄にしてもらってます。

そのぐらいの状況ですから、それを新たに国道っていうのは、実際のところ、相当なエネルギーと時間が必要だろうと思ってます。本当に、今度は私、市の立場で考えますと、地域の方々とは別ですが、市として必要なことは何だろうというのは、先ほど申し上げましたように、それは西の国道、これ、あれば最高ですよ。でも、一番の、今、課題なのは、例えば確かに生涯学習プラザからいろいろ行くには、直接行くには、少し、ちょっとワンテンポ、ワンアクション必要なわけですよ。でも、1回覚えると、そんなに不便でもないんですよ、実は。287号線から信号があってスムーズに行けないところはあるんですが、直接ですよ、市道。あとは、いわゆるさくら大橋のところの県道、あそこもずっと行って、例えば南から来るにも北側から来るにも、そこを左折じゃない、右折して、県道で行って、もう学習プラザ見えますから、そこから入れればいいということなんで、実はそんなでもないですよ。でも、あったほうがベストですよ、これは、もちろん。県道は西根も平野も2本が走ってるわけですよ、中と、いわゆる山際と。これが、もうすごい渋滞して困るというほどではないわけですので、そうしますと、一番まず渋滞で困ってるのは、特にヤマザワさんのところから、ヤマダ電機さんのあたりから舟場までの、ここがもう渋滞するということです。

ですから、その解決ということはあるんでしょうけども、やっぱりもう一步、違う視点で見ますと、私ども、さっきの要望書の中にも、協議会の、同盟会の要望書の中にもありましたけども、新潟と仙台の間だということですけども、そのメリットなんて全然生かされてないわけですよ、道路上は。そうですよね。あれは、要は新潟山形南部連絡道路、113号線がその基

本になるわけですから、長井のメリットというのは、今泉なんてもう端ですから、もうそれで、今度、いわゆる287号線と113号線の分離するところは川西町に移ってしまったんですよ。もうこの辺も下手だったんだと思うんですけども、ですから、今後どうするかというふう考えたときに、やっぱり我々で一番必要なのは、今さら東北中央自動車道なんて無理ですから、やっぱり狙うのは高規格道路の、要は分岐して長井を通って山形のほうに行く地域高規格道路、これをつくれないかと。これは国直轄です。でも、直轄の国道がないので、よっぽど県の力をかりないと、これも無理だろうと。ただ、その高規格道路があると、我々としては非常に便利なわけですよ。長井にいらっしゃる方も、我々もどっかに移動する際に、信号で一々とまる必要がないわけですよ。

したがって、本来は西廻り幹線道路というのは、私個人の考え方、あとは我々内部でもようやく大体固まりつつあるんですが、高規格道路であるのが一番じゃないかと。

ただ、ルートはいろいろあると思います。荒砥橋というのはどうなのか。あるいは、もう私も長井単独でそれを狙っていくべきなのか。ですから、西廻り幹線道路についてはとにかく実現しなきゃいけないんですけども、何が長井市にとって一番のメリットあるか。あと、活動されてる地区の皆様の要望もあわせて一緒に目的として達成できるようなあり方を探らなきゃいけないと。

まずは調査費をつけていただいて、そのルートをどうするかということなどを協議する中から、やっぱり協議していきたいなと思うところ。長くなりました。以上です。

○**渋谷佐輔議長** 9番、梅津善之議員。

○**9番 梅津善之議員** 以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○**渋谷佐輔議長** 以上で一般質問は全部終了いた

しました。

散 会

○**渋谷佐輔議長** 本日はこれをもって散会いたします。ご協力ありがとうございました。

午前11時46分 散会